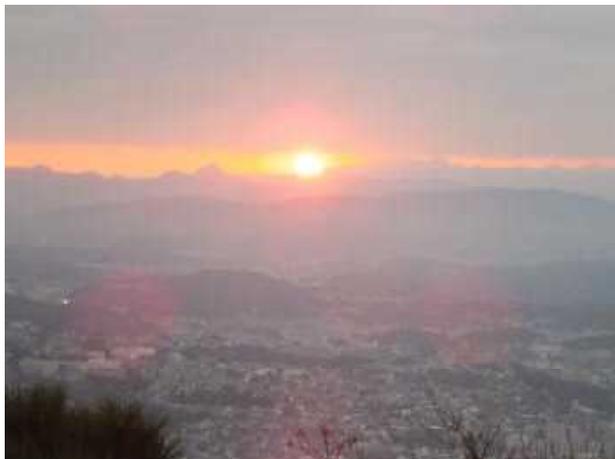


新年あけましておめでとうございます! 今年もよろしくお願ひいたします。



弓張岳からの初日の出

平成30年が穏やかな光とともにスタートしました。例年よりも暖かいお正月で、毎年、初日の出を参拝する「弓張岳展望台」も、夜が明ける前から駐車場までの道路が大渋滞でした。また、お正月恒例の初売りや初詣も賑わいを見せていたようです。皆様のお正月はいかがでしたでしょうか。「今年の干支は何？」と尋ねると、「イヌです」と答える人が多いと思います。でも正確に言えば、今年の干支は「**戊戌（つちのえいぬ）**」と言います。「干支」とは「**十干十二支**」のことで、十干（甲乙丙…癸）と十二支（子丑寅…亥）を組み合わせたものです。十と十二の最小公倍数が六十。次に「戊戌」がやってくる年は六十年後になります。だから六十歳を「還暦」と呼び、生まれた年（赤ちゃん）に帰るといふことで、赤いものを贈ってお祝いをするのです。「戌」には、植物の成長が絶頂期にあるという意味があり、「戌」は元

々「滅（びる）」という文字で、草木が枯れるという意味があります。そこで、「戌戌」の年は、前年に燃え尽きた豊かさや幸せの灰の中から、新しい希望や可能性が伸びてくる年になるそうです。平成30年を、ぜひ生徒一人一人の可能性が輝く中里中にしたいと思ひます。

そして1月9日（火）、今年度の残り三ヶ月がスタートしました。来週からは私立高校の受験が始まり、3年生は、卒業後の進路先が決定するまで緊張の日々が続きます。高校入試は15年間の生き方が試される場です。筆記試験は、「学ぶこと」にどれだけ真剣に取り組んできたかが試され、面接試験は、常識としての言葉遣いや態度、夢の実現に向けてどれだけ真摯に取り組んでいるかが試されます。数回の面接練習でその人の性格まで変えることはできません。普段からの心がけが人格を作っていくのです。だからこそ「**一日一日を大切に**」です。

卒業式まで、あと**63日**。修了式まで、あと**12日**。

平成30年も、本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

◎ 「金賞」に2年生の石瀧よつ葉さん!

～新春書き初め大会～



1月8日（月）、中里皆瀬地区公民館で、健全育成会主催による「新春書き初め大会」が開催されました。今年で21回目となる大会には、小中学生110名が参加しました。昨年は中学生の参加者が8名と少なかったそうですが、今年は22名の中学生が参加し、今年最初の書き初めに取り組みました。

今年の中学生の課題は「一路」という意味ですが、今年一年

順風。「物事が順調に進むこと」が順風な年になるようにという願ひを込めながら、すばらしい作品を完成させました。

＜入賞者紹介＞

金賞	石瀧よつ葉さん	(2年)
銀賞	吉永 海咲さん	(3年)
銀賞	田雑 さやさん	(1年)
銅賞	堤 梓紗さん	(2年)
銅賞	田代 貴太くん	(2年)
銅賞	宮崎 皓也くん	(2年)



☆ボランティア活動頑張りました☆

1月7日（日）、アルカス佐世保で行われた成人式典。大勢の華やかな成人の方々の中に混じって、3年生の眞崎さんの姿がありました。パンフレットを配布したり、アンケートを回収したりと大忙しで頑張っていました。陰で支える多くの人がいって運営ができるのです。「**縁の下の力持ち**」に心から感謝いたします。

